

中山道間の宿 新加納

～歴史文化を次世代に継承するまちなみ保全と再生～

岐阜県 各務原市

中山道間の宿 新加納まちづくり会



喜びの声



受賞者

中山道間の宿
新加納まちづくり会
会長
小島 秀俊

コメント

会の発足以来、皆さんと楽しく活動を続けてきたところ、この度「手づくり郷土賞」の栄にあずかり会員はじめ町内の皆さん共々大変な喜びといたしております。私たちが小さい頃から引き継ぎ参加してきた祭りや伝統行事、歴史が薄らいでゆく中、新しい住民との絆や連帯、融和をはじめ、子どもたちの郷土愛を育む目的で色々な活動を始めました。【地域の歴史を学ぶ】が課題です。

活動の内容

- 中山道間の宿新加納の歴史景観整備
- 坪内旗本陣屋跡 新加納陣屋公園整備
- まちづくりかわら版発行
- 講演会各種(歴史、防犯、災害)
- 新加納陣屋公園 歴史パネル30枚作成、展示
- 新加納区画整理事業の企画に参画
- SNSによる活動配信

活動の経歴

- 平成 23 年 中山道間の宿新加納まちづくり会発足
- 平成 27 年 新加納防犯パトロール隊発足
- 平成 28 年 ビューレンジャー発足
- 令和 2 年 ビデオ、ドローン撮影による活動記録保存

3 活動の成果や波及効果等

まちづくり会の活動を行う過程で、防犯・防災活動を行う「新加納防犯パトロール隊」、景観を保全する「ビューレンジャー」などが派生的に立ち上がり、自分たちの住む地域を自分たちの手でよくしていく取り組みを積極的に行っています。

さらに、新たな地域の歴史拠点となった「新加納陣屋公園」を中心に、住民が中山道間の宿の歴史・文化を丁寧に掘り下げ、隣接する土地区画整理内に新たに住み始めた住民と共有していくことで、「ふるさと新加納」として将来にわたり住み継がれる個性豊かなまちづくりを進めています。



まちづくり会より立ち上がった
新加納防犯パトロール隊



地域の子供たちに防犯活動を行う
新加納防犯パトロール隊

- 所在地 岐阜県各務原市那加新加納町
- 活動主体及び連絡先 中山道間の宿 新加納まちづくり会 (058-382-0291)
- 対象となる社会資本 中山道間の宿 新加納 ※管理者:各務原市



1 社会資本の概要

「中山道間の宿 新加納」は、中山道52番目の「鵜沼宿」と53番目の「加納宿」の間に栄えた間の宿で、関ヶ原の戦いの戦功により旗本坪内利定が設置した新加納陣屋が存在したことで知られています。明治に入り、陣屋は解体されましたが菩提寺少林寺を始め、趣のある建造物、神社など歴史的な

景観資源が多く残されており、平成20年8月には景観法に基づく「重点風景地区」に指定されています。

各務原市では、平成22年度から「新加納地区都市再生整備計画事業」を立ち上げ、歴史的な趣と調和するまちなみの保全と安全安心なまちづくりを進めてきました。



中山道間の宿 新加納



新加納陣屋公園

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

「中山道間の宿 新加納まちづくり会」は、平成23年7月に町内の有志50人で郷土に対する理解と愛着を高め、住みよいまちをつくる目的で発足しました。

まちづくり会では、年1回の総会のほか、毎月1回の定例会やまちづくりについてのワークショップなどを定期的に開催しています。また、まちづくりイベント

として、講演会や視察研修、歴史勉強会を開催するとともに、新加納にまつわる歴史コラムなどを掲載した「まちづくりかわら版」をこれまでに全21号発行しています。さらに、会のホームページを開発したり、YouTubeやSNSを活用して、地域の魅力について積極的に情報発信を行っています。



まちづくりについての
ワークショップ



地域の子供たちに行う
歴史勉強会



全21号発行している
まちづくりかわら版